

II 工事仕様	
項目	特記事項
1. 共通仕様	<p>(1) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房府営施設部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新年度版)」(以下、「標準図」という。)による。</p> <p>(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。</p>
2. 特記仕様	<p>特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。</p> <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p>

項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項
③ 化学物質を放散する建築材料等	<p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。</p> <p>(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、单板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質部材、ユリア樹脂板、仕上げ材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(3) 接着剤はフタル酸ジ-<i>n</i>-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>(5) 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。</p> <p>なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものは放散量が第三種のものをい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。</p> <p>ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。</p> <p>また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。</p>	<p>20. 防火区画等の貫通処理</p> <p>電線等が防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合、その施工状況について貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。</p> <p>21. 電線・ケーブル</p> <p>(1) EM-EEFは紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「タイガーカイセン EM-EEF」と表記されたものを使用する</p> <p>(2) EM-UTPは JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたものを使用する</p> <p>22. 予備配管</p> <p>埋込式電盤から以上に予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本、5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。</p> <p>23. 呼び線</p> <p>長さ3m以上の入線しない電線には、1.2mm以上のビニル被覆銅線を挿入する。</p> <p>24. 金属製電線管の塗装</p> <p>下記の露出配管部を塗装を行う。</p> <p>25. 埋め戻し土</p> <p>・屋外 ・屋内(機械室)</p> <p>A種 [山砂の類 水締め、機器による締固め] ※種 [根切り土の中の良質土: 機器による締固め] C種 [他現場の建設発生土の中の良質土: 機器による締固め] D種 [再生コンクリート砂: 水締め、機器による締固め] ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める</p> <p>26. 建設発生土の処理</p> <p>※場外搬出処理 27. ケーブル埋設桿</p> <p>(1) 地中線路面上には、次の構内によるケーブル埋設桿を設ける。 ・鉄製 ・コンクリート製</p> <p>(2) 低圧地中配管にあっても地中線埋設桿シートを設置する。</p> <p>(3) 配管埋設幅が50mmを超える場合は、地中線埋設桿シートは2本以上敷設する。</p> <p>28. ブルボックス</p> <p>(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン化粧付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。</p> <p>29. フラッシュプレート</p> <p>画面に記載あるもの及び特殊なものを除き、・金属製 30. プレートの用途表示</p> <p>ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を表装しないプレートには、用途を明示した略縦をつける。</p> <p>31. 配管器具</p> <p>ランタブリッヂは連用形とする。</p> <p>壁付けコンセント(2P15A)は原則として連用形とする。ただし、2口の場合は複式を、また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。</p> <p>32. 機器への接続</p> <p>本工事の動力制御部より別途機器等への配線の接続は本工事とする。</p> <p>33. 照度測定</p> <p>(1) 测定場所: ○各室(測定箇所数 3箇所) ○廊下 用 途 ○非常用照明 ○一般照明 ・学校施設における室内外度測定(測定教室: 個所、 测定黒板面: 個所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面か所、黒板垂直面か所を測定する。</p> <p>34. 盆類</p> <p>(1) 分電盤等の画面黒板面に、単線接続線・絶縁抵抗測定表・地抵抗測定表を収納する。 (2) 壁面には、綫番表、種表を備え付ける。</p> <p>35. グリーン購入の推進</p> <p>長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> 照明制御システム・変圧器 <建設機器> 排出ガス対策型建設機器・低騒音型建設機器</p> <p>36. 他工事又は他工事との取り合い</p> <p>工事区分表(平成 年版)による。ただこれにより難い場合は監督職員と協議する。</p>	
規制対象外	<p>ホルムアルデヒドの放散量</p> <p>該 当 す る 建 築 材 料</p> <p>① JIS及びJASのF☆☆☆規格品</p> <p>② 建築基準法施行第20条の第4項による国土交通大臣認定品</p> <p>③ 下記表示のあるJAS規格品</p> <p>a. 非ホルムアルデヒド系接着剤</p> <p>b. 接着剤等不使用</p> <p>c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散せない材料使用</p> <p>d. ホルムアルデヒドを放散せない塗料等使用</p> <p>e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散せない塗料等使用</p> <p>f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散せない塗料等使用</p>	<p>① JIS及びJASのF☆☆☆規格品</p> <p>② 建築基準法施行第20条の第3項による国土交通大臣認定品</p> <p>③ JISのO規格品</p> <p>④ JASのO規格品</p>	
規制対象外	<p>規制対象外</p> <p>第三種</p>		
④ 施工条件明示項目	※ 現場説明書による		
⑤ 電気保安技術者	工事現場の電気工作物(電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。		
⑥ 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。		
⑦ 施工工程表及び施工計画書	(1) 実施工工程表、組合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。 (2) 工種別施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。 使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。		
⑧ 使用材料発注先調査			
⑨ 発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの ○無 有() (2) 引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3) 特別管理産業廃棄物 ○無 ・有 (PCB使用機器: 関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す) (4) 再利用又は再資源化を図るもの ・無 ○有 (○廃蛍光管 ・コンクリート ・木村 ・アスファルト ・金属くず ・ダンボール類) ※設けない ・設ける (規模:)		
10. 監督員事務所			
11. 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。		
12. 足場・さん橋類	構内に作ることが ○できる できない 別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○内部仮設足場 (・脚架足場 ・移動式足場 ○移動式室内足場 ・外部足場 ・脚立 ・A種[施工箇所面に枠組足場を設ける] B種[施工箇所面に単管本足場を設ける] ・C種[仮設ゴンドラを使用する] D種[移動式足場を使用する])		
13. 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は、請負者の負担とする。		
14. 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員に提出すること。		
15. 完成図等	※ 完成図 (※ 計画図書で示したものの全て ・規格表1.7による ・監督員の指示による) 作成方法 ※ 製本 〔※ 見開きA3縮小版2~3部(黒表紙金文字製本) ・見開きA1版1部(ビニール製本) ※ CADデータ (※ CD-R (1部) ※ 保全に関する資料(1部) ※ 監督員の指示による〕		
16. しゆじ工事提出物			
17. 併用申請書	西側用便道(原付1台)と東側用便道(原付1台)とを複数台で申請する場合に、後面(1)は(1)と(2)の併用申請書		

5. 接地極	下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。		
・ A種接地	銅板 1.5t × 900 × 900	補助接地棒 (連続式 10φ × 1,500) リード端子付 堀削理済中心深さ 2m 埋設樁 (黄銅製又はステンレス製)	
・ B種接地	銅板 1.5t × 600 × 600	補助接地棒 (連続式 10φ × 1,500) リード端子付 堀削理済中心深さ 2m 埋設樁 (黄銅製又はステンレス製)	
・ C種接地	銅板 1.5t × 300 × 300	補助接地棒 (連続式 10φ × 1,500) リード端子付 堀削理済中心深さ 1.5m 埋設樁 (黄銅製又はステンレス製)	
・ D種接地	接地棒 (10φ × 1,500) リード端子付 打込み式		埋設樁 (黄銅製又はステンレス製)

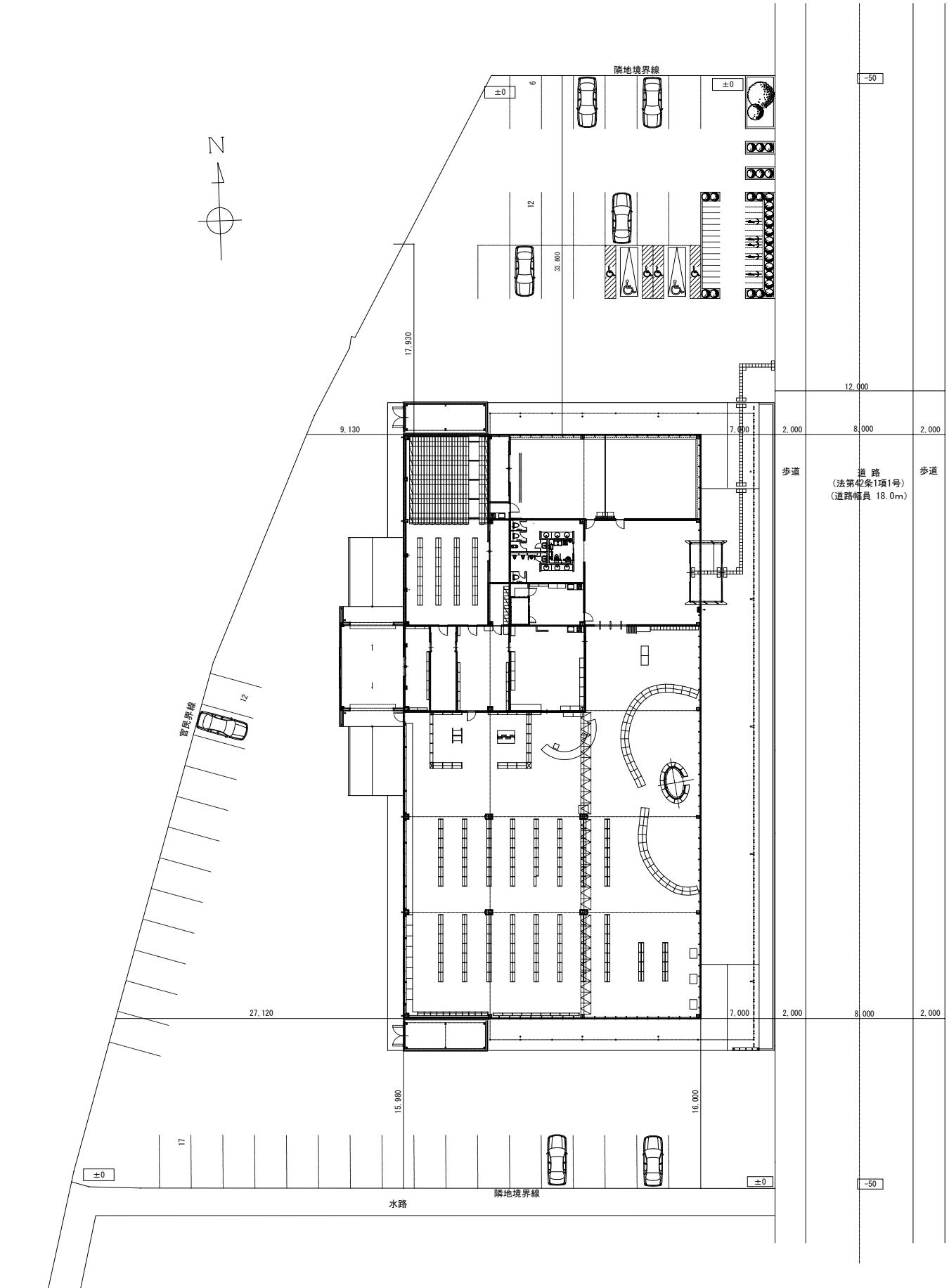
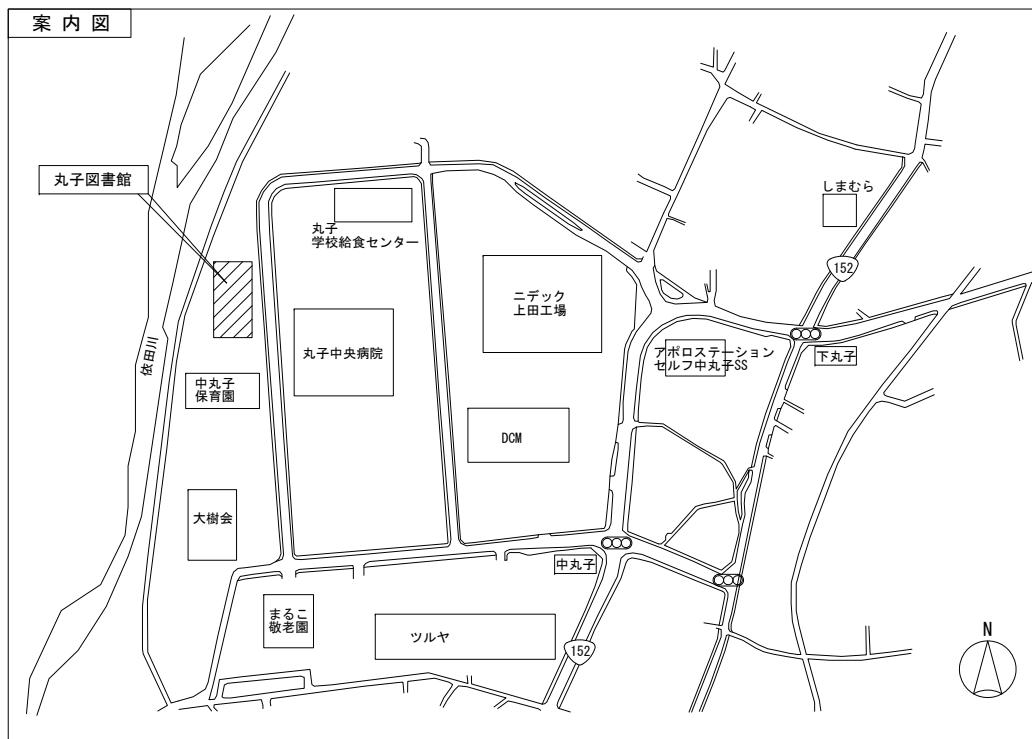
⑥ その他	
① 工事現場の環境改善について	<p>工事現場のイメージアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮囲い周辺の美化 <p>地域住民への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成予想図の設置 情報掲示板の設置 パンフレットの作成 <p>地域住民とのコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 現地見学会の開催 <p>住民に対する災害防護関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場出入口周辺への誘導員の配備
② 不具合の確認	<p>工事しん工後10ヶ月、20ヶ月（新営に限る）に不具合の確認を行い、その結果を書面で上田市長あてに報告する。</p> <p>（施設管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず監督員の立会いを要する。）</p>
③ 産業廃棄物等の取扱い	<p>(1) 廃棄物の処理に当たっては、請負者が自己処理（分別・保管・収集・運搬及び処分の一連の行為）するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）に基づき、適正に行うこと。</p> <p>(2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書を写し、産業廃棄物処理業の許可書の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。</p> <p>(3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積込み状況の写真、処分状況の写真等を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出すること。</p>
④ 環境対策関係	<p>(1) 現場で使用する機械は、「低音量型・低振動型」排出ガス対策型建設機械とすること。</p> <p>(2) 夜間、早朝等の騒動を避けること。ただし、監督員の承認を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ない最短ルートを選定すること。</p> <p>(3) 汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等、環境の回復に努めること。</p> <p>(4) 熟練材合板型枠は、熱効率使用しないこと。</p>
⑤ 安全対策関係	<p>(1) 工事現場においては、労働災害・公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育・研修及び訓練を行うこと。</p> <p>(2) 安全教育・研修及び訓練については、工事期間中に月一程度実施し、工事日誌へ記録するほか、実施結果、実施状況の写真、安全教育に使用した資料等を整理すること。</p> <p>(3) 原則として代理人（主任）以外の第三者により、月1回以上店舗による安全バトルを行い、工事日誌へ記載するほか、点検内容等を書面に記録し、実施状況の写真を撮影すること。</p> <p>(4) 下請業者にKY（危険予知）、TBW（作業内容の打合せ）活動等を実施させ、その記録を整備するとともに、隨時、実施状況の写真を撮影すること。</p> <p>(5) 下請業者を含め、作業員に対し現場内容に即した新規入場者教育、安全教育・訓練等を実施し、閲覧書類及び使用した資料等を整理するとともに、隨時、実施状況の写真を撮影すること。</p> <p>(6) 上記の(2)～(5)の活動については、記録・書類及び写真を整備したものを現場に備え監督員及び工事検査の際に提示できるようにすること。</p>
⑥ 工事検査	<p>施工途中において工事検査担当課員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施する所以があるので、検査に協力すること。</p>

⑦被害届等	暴力団関係者かならず事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。
⑧施工図等の取扱い	施工図等の著作権に関する該当部屋に限る使用権は、発注者に移譲する。
⑨完成図等	完成図など維持管理に関する書類は、しゅん工後30日以内に提出し、必要に応じ取扱説明を行うこと。
⑩提出物	上記による他、監督員の指示による。

称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)
時計	地上～上端	2,000	壁掛形 懐時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
閉 開 器	床上～上端	1,800	子 時 計	"	(天井高) × 0.9
壁 盤	床上～中心	1,500	壁掛形ピーカー	"	(天井高) × 0.9
電 壁	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	アッテネーター	"	1,300
スイッチ	"	1,300	表 示 盤	床上～中心	(天井高) × 0.9
(障者用)	"	1,100	壁付発信器	"	1,300
ト(一般)	"	300	ペ ル	"	(天井高) × 0.9
(和室)	"	150	ブ ザ 一	"	(天井高) × 0.9
(便所等)	"	500	押 ボ タ ン	"	1,300
(台上)	台上～中心	150	" (障者用押印)	"	900
ト(一般)	床上～中心	2,100	身障者用表示灯	"	2,000
(跳場)	"	2,500	復 備 ボ タ ン	"	1,800
(鏡上)	鏡端～中心	150	壁付インターホン	床上～中心	1,500
誘導灯	床上～下端	1,500以上	" (身障者用)	"	1,100
誘導導灯	床上～上端	1,000以下	壁付位置ボックス	(壁付インター ホンを除く)	
制御盤	床上～中心	1,500	" (一般)		300
閉 開 器	"	(上端1,900以下)	" (和室)		150
チ チ	"	1,300	テ レ ビ 受 箱	床上～中心	(天井高) × 0.9
押ボタン			ア ウ ト レ ッ ツ	"	
音 子 盤	床上～下端	300	" (一般)	"	300
室内)	床上～中心	1,500	" (和室)	"	150
音 子 盤	"	(天井高) × 0.9	受 信 機	床上～操作部	800～1,500
電 脳			副 受 信 機	"	800～1,500
安 器 箱			機 器 収 容 箱	床上～中心	800～1,500
ト レ ッ ツ	"	300	発 信 器	"	800～1,500
(一般)	"	150	ペ ル	"	(天井高) × 0.9
(和室)	"		迷 小 杖 持 し 箱	"	(天井高) × 0.9

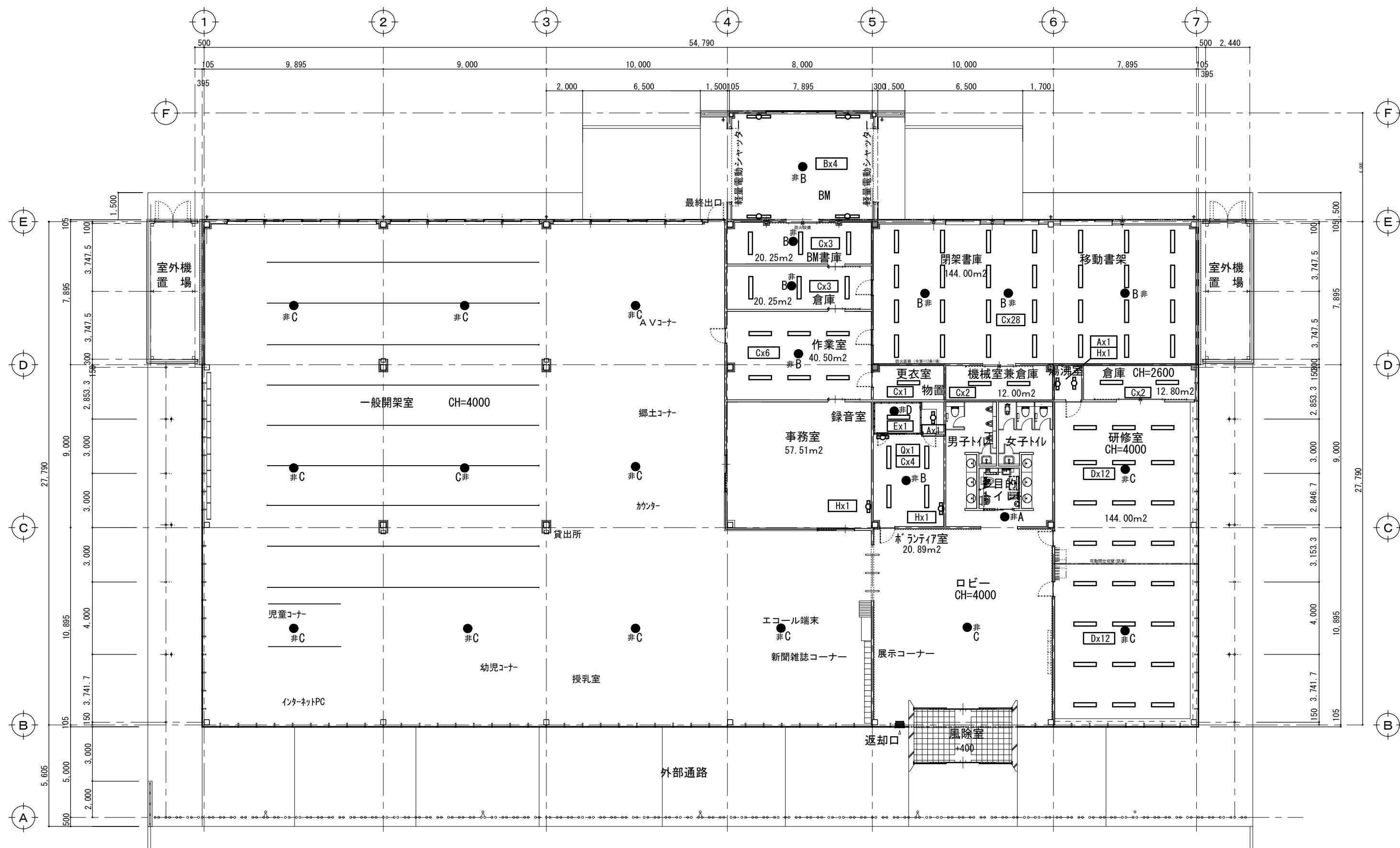
工事概要

工事名	丸子図書館LED化改修工事
工事場所	丸子図書館 上田市中丸子1771-11
構造・規模	鉄骨造 平屋建て 延床面積: 1639.80m ²
改修概要	照明器具、非常用照明器具をLED器具に交換
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 工事着手前に施設管理者及び監督員と施工手順について協議を行い、承諾を得ること。 工事予定施設は工事中も運営しているので、工程、仮設計画、工事時間養生等は施設利用者に配慮したものとすること。 断水、停電と伴う工事については、施設管理者及び監督員と事前に協議を行い、承諾を得ること。 休日作業については、事前に施設管理者及び監督員に報告すること。 騒音や粉塵を伴う作業については休日を行うこと。また粉塵を伴う作業に際しては養生方法を十分検討すること。 各改修工事にあたり、状況により施工困難、不具合が生じた場合は、監督員と協議のうえ適正に施工を行うこと。 施工箇所の清掃等は日々の清掃を徹底し、施設利用者に危険が及ぼすように注意すること。 その他記入なき事項で必要と思われる事項は監督員と協議し、指示通り行うこと。



配置図 S=1/250





【既存照明器具】

A	FSS9-161	蛍光灯 16Wx1	B	FBS6-321PK	Hf蛍光灯 32Wx1	C	FRS26-322PK	Hf蛍光灯 32Wx2	D	FRL10-322PK	Hf蛍光灯 32Wx2	E	FL-32Wx2	富士型	H	FL-15Wx1	照明ユニット
物置 湯沸し室		初期照度補正制御	BM	初期照度補正制御 Cチャン回避型	閉架書庫 作業室 BM倉庫 倉庫 更衣室 機械室兼倉庫		初期照度補正制御 埋込下面パッフル	研修室		FL-32Wx2		録音室		FL15Wx1	流し元		
FHT-21307-PH9 東芝ライテック (株)		FHT-41325-PK9 東芝ライテック (株)		FHR-42848N-PK9 東芝ライテック (株)		FHR-42858-PK9 東芝ライテック (株)								株伸晃 YMKシヨウメイ15W			
P	IL-60W		Q	FL10Wx1													
スタンド		録音室 外部															
DST-35918 大光電機 (株)		FR-11904N-SL16 東芝ライテック (株)															

【新規照明器具】

A	直付型20型	B	直付型40型 コーナーライト	C	埋込型40型 下面開放型	D	埋込型40型 下面開放型 W220	E	直付型40型	H	LEDキッチンライト 15型直管蛍光灯1灯器具
消費電力11.6W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板(白色粉体塗装)、反射板：鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra8.3 電源装置はライトバー側に内蔵		消費電力16.3W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra8.3 電源装置はライトバー側に内蔵		消費電力31.5W、定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra8.3 電源装置はライトバー側に内蔵		消費電力2.5W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板(白色粉体塗装)、反射板：鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra8.3 電源装置はライトバー側に内蔵		消費電力2.5W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板(白色粉体塗装)、反射板：鋼板(高反射白色粉体塗装) ライトバー(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra8.3 電源装置はライトバー側に内蔵			
参考 直付XF210AENLE9		参考 直付XF420CENLE9		参考 埋込XF450UKNLE9		参考 埋込XF450UKNLE9		参考 直付XF440DENLE9		参考 LGB85040LE1	
Q	LED表示灯				<th></th> <td><th></th><td><th></th></td></td>		<th></th> <td><th></th></td>		<th></th>		
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯				<th></th> <td><th></th><td><th></th></td></td>		<th></th> <td><th></th></td>		<th></th>		
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯				<th></th> <td><th></th><td><th></th></td></td>		<th></th> <td><th></th></td>		<th></th>		
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯				<th></th> <td><th></th><td><th></th></td></td>		<th></th> <td><th></th></td>		<th></th>		
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯				<th></th> <td><th></th><td><th></th></td></td>		<th></th> <td><th></th></td>		<th></th>		
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯				<th></th> <td><th></th><td><th></th></td></td>		<th></th> <td><th></th></td>		<th></th>		
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯			<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>							
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯			<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>							
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯			<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>							
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯			<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>							
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯			<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>							
※文字は現場に合わせること											
昼白色、5000K、Ra7.5 消費電力5W、壁埋込型 格子：鋼板(クールホワイトや消し仕上) 埋込穴：28×368 埋込4.2 光束維持時間40000時間(光束維持率70%)											
参考 NNF11910LE1+FK11531											
Q	LED表示灯			<td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>							
※文字は現場に合わせること											